

# 2022 BUSINESS REPORT

アイエーグループ株式会社

<証券コード 7509>



第39期 期末報告書

2021.4.1 ~ 2022.3.31



# アイエグループは、「グッドカンパニー」を目指します。

当社は1984年に創業をしました。

1996年9月には旧ジャスダック市場に株式を公開しました。\*2022年4月に新市場区分「スタンダード市場」に移行

2008年10月には純粋持株会社体制への移行に伴い、商号を株式会社アイエからアイエグループ株式会社に変更いたしました。

当社グループの創業の「志」は、グッドカンパニーを創ることにあります。

当社グループが目指すグッドカンパニーとは、お客様および社会にとって存在価値の高い会社であり、社員にとってやりがいと自分自身の大きな成長が見込める会社であります。

社員各人はさまざまな知恵や新たな発想、そしてチャレンジ精神を持って当社グループに参加することにより、まさに「自己拡大の場」「自己実現の場」としていただきたいと考えます。

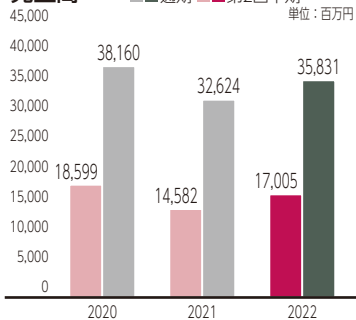
会社のために“人”が在るのではなく、“夢を持った人”のために会社が在るというように努めてまいります。

私達は常に、明るく・元気に・楽しく、を合言葉に「志」の達成に向け、全社一丸となって努力してまいります。

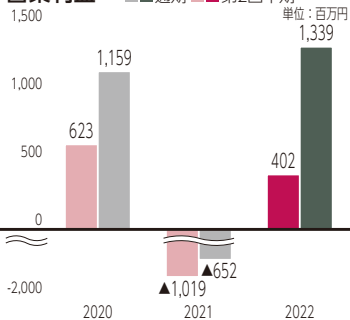
## 企業理念

1. 社員の成長と発展を願い、仕事環境の創出を致します。
2. 社会との関わりを大切にし、豊かな社会作りに貢献致します。
3. 時流変化を正しく認識し、絶えざる革新を行う企業経営に邁進致します。

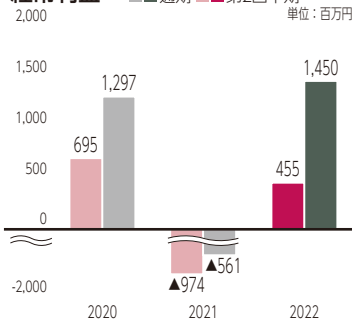
### 売上高



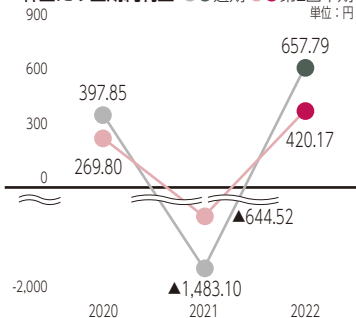
### 営業利益



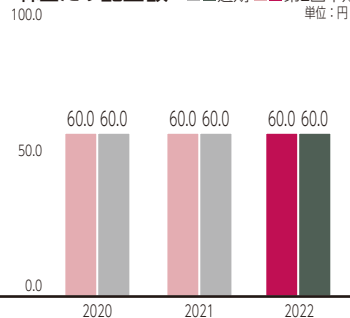
### 経常利益



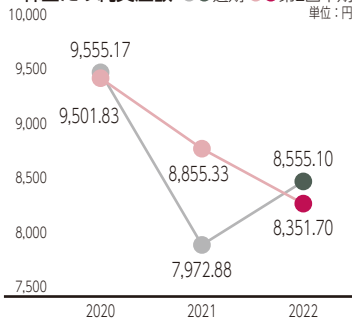
### 1株当たり当期純利益



### 1株当たり配当額



### 1株当たり純資産額



(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失は期中平均発行済株式総数に基づき、1株当たり純資産額は期末発行済株式総数に基づき算出しております。なお、それぞれ自己株式数を控除した株式数によって算出しております。

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症の発生により影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

第39期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の期末報告書をお届けするにあたり、日頃の皆様の温かいご支援に対し心からお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」)の影響が長期化しており、景気動向は依然として厳しい状態で推移いたしました。新たな変異株による感染症の拡大を受け、緊急事態宣言の発令や、まん延防止等重点措置が適用されるなど、人の移動や経済活動が制限されることにより個人消費については低迷が続いております。また、原油等の資源価格の高騰や東欧での地政学的リスクの高まりが国内の経済に与える影響が見通せないなか、国内経済の回復に向けた動きは鈍く、その先行きは極めて不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収減益、プライダグ事業は増収増益となり、建設不動産事業は増収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。

## (カー用品事業)

緊急事態宣言期間中の来店客数の減少に加え、前連結会計年度にあったドライブレコーダー特需の落ち着いたによりカー用品販売は苦戦いたしました。新車・中古車販売が通期において好調に推移するとともに、冬季の降雪によりスタッドレスタイヤやチェーン等の需要増加が業績に寄与いたしました。また、前連結会計年度3月に営業を開始したオートバックス利府店と当連結会計年度6月に営業を開始したオートバックス秋田店も業績に寄与し、前連結会計年度と比べ増収となりました。利益面においては前連結会計年度と同程度の実績となりました。



代表取締役社長  
古川 教行

## (プライダグ事業)

変異株による感染症の拡大を受け、前連結会計年度同様に当連結会計年度においてもご予約いただいていた婚礼の延期や規模を縮小しての開催が生じましたが、お客様の安全を第一とした感染防止対策を徹底しつつ婚礼を実施した結果、前連結会計年度と比べ増収増益となりました。

## (建設不動産事業)

高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の維持・向上に努めたことにより、前連結会計年度と比べ増収となりました。利益面においては前連結会計年度と同程度の実績となりました。

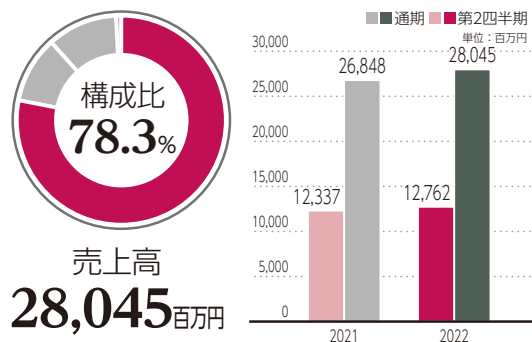
## (その他の事業)

コマダ事業については引き続き感染防止対策を徹底した店舗運営を行いました。また、販売費および一般管理費の削減に努めた結果、前連結会計年度と比べ増収増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は35,831百万円(前期比9.8%増)となり、営業利益につきましては1,339百万円(前期は652百万円の損失)、経常利益につきましては1,450百万円(前期は561百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は、972百万円(前期は2,209百万円の損失)となりました。

# セグメント情報

## カー用品事業



### 事業戦略

- ・社員教育の強化（国家整備士の資格取得推進、体系的な階層別・職種別研修の実施）
- ・ピットサービス部門の強化（運輸局指定工場認可の推進）
- ・事業領域の拡大（タイヤ預かり事業、車両販売事業の推進）

### トピックス

#### 新規出店



オートバックス秋田店

#### 車買取・販売の強化



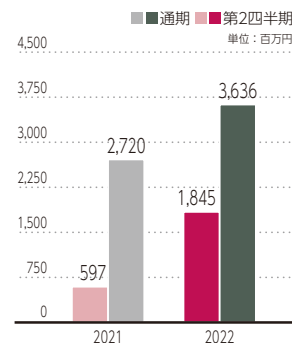
スーパーオートバックス十日市場



## ブライダル事業



売上高  
3,636百万円



### 事業戦略

- ・顧客満足の更なる向上（質の向上プロジェクトの推進、社員教育の強化）
- ・施設の鮮度管理（継続的リニューアルの実施）
- ・ブランディング戦略（クチコミ等を通じた知名度の向上）
- ・営業基盤の充実と拡大に向けた体制の強化

### トピックス

#### 婚礼以外での施設利用促進



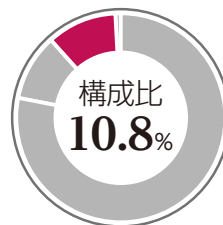
アニバーサリーレストラン



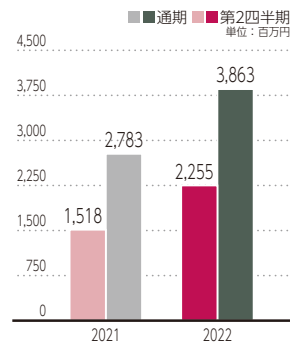
一般宴会

# セグメント情報

## 建設不動産事業



売上高  
3,863百万円



### 事業戦略

- ・所有物件の安定利回り維持による収益の確保
- ・グループ資金を利用した高収益物件の適時購入確保
- ・グループ資産の管理・運営および建築・管理営繕プロデュース

### トピックス

#### 2022年3月期 施工事例



#### 株式会社エイワ様 横浜支店新築工事

アイエーの取引先である、株式会社エイワ様の横浜支店移転に際し、土地の紹介から施工までIDMがワンストップサービスで実施しました。



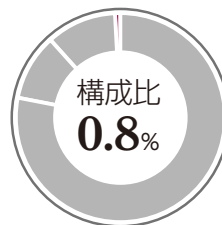
#### ショコラ房様 いずみ野店新店舗内装工事

ショコラ房(手作りのチョコレート工房)は、障がい者の方々も活躍する「働く支援工房」。その新店舗の工事をIDMが行いました。

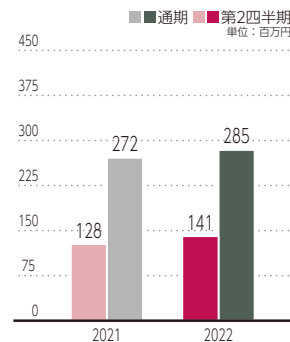
## その他事業



総務・経理代行業務 コメダ珈琲の経営

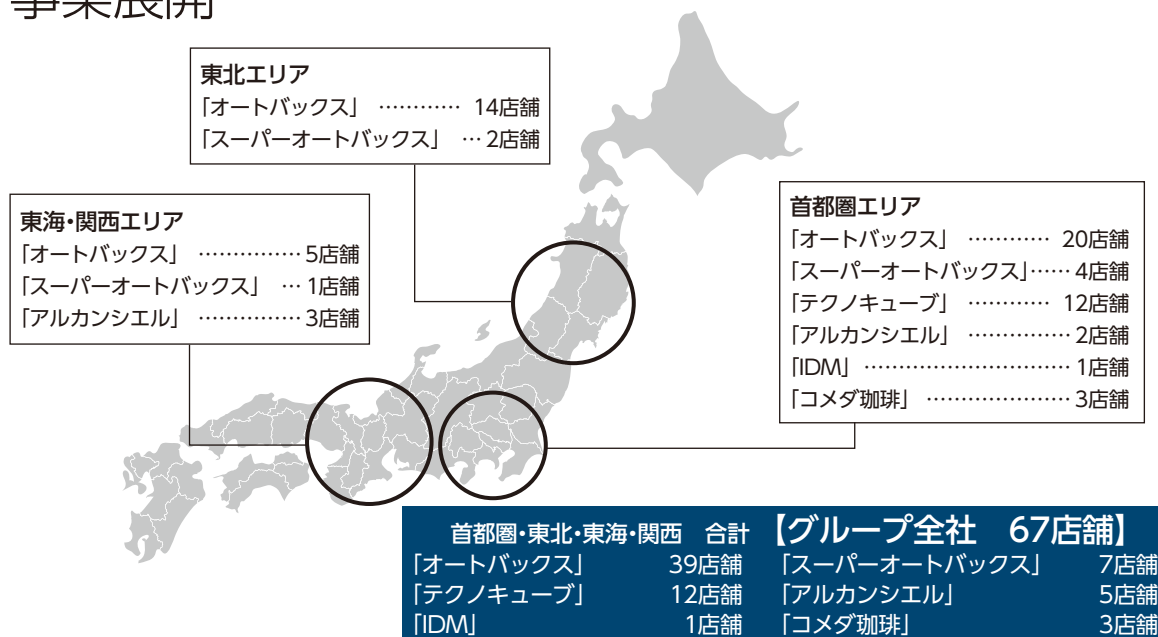


売上高  
**285**百万円



**コメダ珈琲店** お客様にコミュニティーの場を提供

## 事業展開



※2022年4月1日現在

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		
科目	当期末 (2022年3月31日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
<b>流動資産</b>	<b>11,046,241</b>	<b>11,740,645</b>
現金及び預金	2,130,979	1,329,782
売掛金	1,582,088	1,519,626
棚卸資産	6,305,296	7,881,338
その他	1,027,877	1,009,897
<b>固定資産</b>	<b>17,491,441</b>	<b>18,142,905</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>12,494,297</b>	<b>12,666,436</b>
建物及び構築物	5,090,217	5,319,649
土地	6,862,838	6,862,838
リース資産	37,854	53,183
建設仮勘定	3,761	—
その他	499,624	430,764
<b>無形固定資産</b>	<b>53,314</b>	<b>65,667</b>
電話加入権	9,032	9,258
その他	44,282	56,409
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,943,829</b>	<b>5,410,801</b>
投資有価証券	88,826	98,740
長期貸付金	19,440	20,040
長期前払費用	116,606	131,924
差入保証金	2,977,146	3,109,159
繰延税金資産	1,675,169	1,818,888
その他	87,359	252,088
貸倒引当金	△20,718	△20,040
<b>資産合計</b>	<b>28,537,683</b>	<b>29,883,551</b>

負債の部		
科目	当期末 (2022年3月31日現在)	前期末 (2021年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>10,074,934</b>	<b>10,413,332</b>
買掛金	2,207,716	1,731,519
短期借入金	4,653,076	4,570,076
リース債務	26,435	36,994
未払法人税等	132,258	560,345
未払消費税等	277,971	372,114
未成工事受入金	1,770	162,422
賞与引当金	440,201	433,564
その他	2,335,505	2,546,295
<b>固定負債</b>	<b>5,761,518</b>	<b>7,492,947</b>
長期借入金	2,988,096	4,297,172
リース債務	28,242	46,467
繰延税金負債	100,327	84,983
長期預り保証金	615,113	734,902
役員退職慰労引当金	446,004	647,000
退職給付に係る負債	591,126	579,582
資産除去債務	991,984	1,100,098
その他	625	2,741
<b>負債合計</b>	<b>15,836,452</b>	<b>17,906,279</b>
純資産の部		
<b>株主資本</b>	<b>12,605,930</b>	<b>11,868,167</b>
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,066,453	9,271,896
自己株式	△599,413	△542,620
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△13,390</b>	<b>△9,512</b>
その他有価証券評価差額金	14,593	21,598
退職給付に係る調整累計額	△27,984	△31,110
<b>非支配株主持分</b>	<b>108,691</b>	<b>118,616</b>
<b>純資産合計</b>	<b>12,701,231</b>	<b>11,977,271</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>28,537,683</b>	<b>29,883,551</b>

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)



## ■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期	前期
	自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日	自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日
売上高	35,831,912	32,624,769
売上原価	20,101,798	18,706,944
売上総利益	15,730,114	13,917,825
販売費及び一般管理費	14,390,263	14,570,812
営業利益又は営業損失(△)	1,339,851	△652,986
営業外収益	174,381	159,924
営業外費用	63,522	68,806
経常利益又は経常損失(△)	1,450,711	△561,869
特別利益	240,136	172,866
特別損失	324,799	1,445,887
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,366,048	△1,834,890
法人税、住民税及び事業税	242,529	702,704
法人税等調整額	160,767	△330,692
当期純利益又は当期純損失(△)	962,751	△2,206,903
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△9,925	2,548
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	972,676	△2,209,451

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

## ■ 連結株主資本等変動計算書 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株 主 資 本				その他の包括利益累計額				非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	退 職 給 付 に 係 調 整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当連結会計年度期首残高	1,314,100	1,824,791	9,271,896	△542,620	11,868,167	21,598	△31,110	△9,512	118,616	11,977,271
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△178,120		△178,120					△178,120
親会社株主に帰属する 当期純利益			972,676		972,676					972,676
自己株式の取得				△56,793	△56,793					△56,793
株主資本以外の項目の当連 結会計年度変動額(純額)						△7,004	3,125	△3,878	△9,925	△13,803
当連結会計年度変動額合計	—	—	794,556	△56,793	737,763	△7,004	3,125	△3,878	△9,925	723,959
当連結会計年度末残高	1,314,100	1,824,791	10,066,453	△599,413	12,605,930	14,593	△27,984	△13,390	108,691	12,701,231

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

# 会社概況

## 会社概要 (2022年3月31日現在)

■ 商号	アイエーグループ株式会社
■ 設立	1984年3月21日
■ 資本金	13億1,410万円
■ 商号変更	2008年10月1日
■ 代表者	代表取締役社長 古川 教行
■ 本社	神奈川県横浜市戸塚区品濃町545番地5
■ 事業内容	社内外に対してグループの方向性を明示するとともに、各種の専門サービスをもってグループ各社の事業運営を支援すること。
■ ホームページ	<a href="https://www.ia-group.co.jp/">https://www.ia-group.co.jp/</a>
■ 社員数	1,110名(グループ全社)
■ 株式上場取引所	東京証券取引所(銘柄コード7509)
■ 取引銀行	横浜銀行 東戸塚駅前支店 三井住友銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ銀行 戸塚駅前支店 みずほ銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ信託銀行 本店 大垣共立銀行 岐阜支店

## 主要関係会社 (2022年3月31日現在)

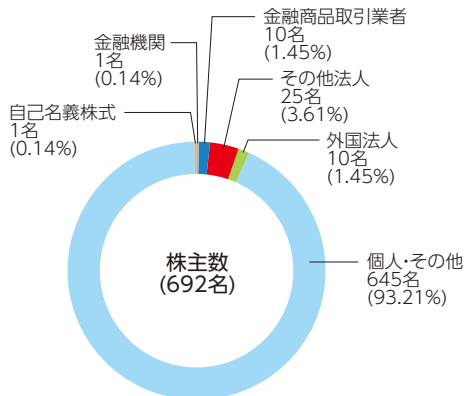
- **株式会社アイエー** <https://www.i-a.co.jp/>
  - ・株式会社アイエーオートボックス
  - カー用品事業
  - 日本最大のカー用品総合専門店チェーン「オートボックス」「スーパーオートボックス」および車検専門店「テクノキューブ」のフランチャイジー店舗の経営
  - ・株式会社アイエーマネージメントサービス
  - 提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング事業
- **株式会社アルカンシエル** <https://www.arcenciel-g.jp/>
  - ブライダル事業
  - ハウスウエディングスタイルの結婚式場の経営
  - ・株式会社アルカンシエルプロデュース
  - ブライダル事業に関わるコンサルティング事業
- **株式会社アイディーエム** <https://www.idm-net.jp/>
  - 建設不動産事業
  - 不動産開発・管理・仲介・販売および建設事業

## 役員 (2022年3月31日現在)

代表取締役社長	古川 教行
取締役副社長	古川 隆太郎
専務取締役	小野 敦
常務取締役	岡野 良信
取締役	足立 浩二
取締役	藤井 敏光
取締役	佐野 尚見
取締役	前川 昌之
常勤監査役	細矢 公司
監査役	今成 達之
監査役	齊藤 浩司

- (注) 1. 取締役佐野尚見氏および取締役前川昌之氏は、社外取締役であります。  
 2. 監査役今成達之氏および監査役齊藤浩司氏は、社外監査役であります。  
 3. 取締役前川昌之氏および監査役齊藤浩司氏は、公認会計士の資格を有しております。  
 4. 当社は、取締役佐野尚見氏および取締役前川昌之氏、ならびに監査役今成達之氏および監査役齊藤浩司氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## 株式分布状況



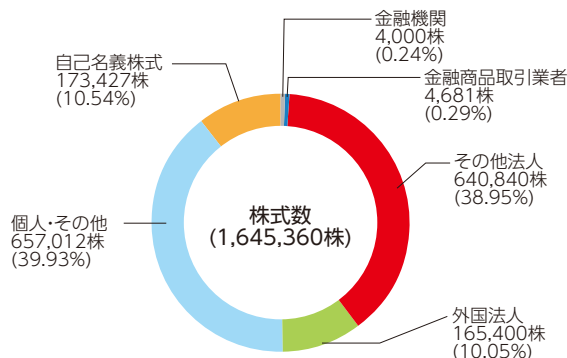
## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	5,348,800株
発行済株式の総数	1,645,360株
株主数	692名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社草創	580,400	39.43
ピーピーエイチ フォー フィデリティ ロープライスド ストック ファンド	114,338	7.76
古川教行	48,580	3.30
古川恵子	48,360	3.28
内藤征吾	47,100	3.19
小黒良太郎	46,800	3.17
株式会社オートボックスセブン	36,000	2.44
田畑憲士	34,000	2.30
小黒美樹子	30,600	2.07
金野茂樹	24,600	1.67

(注) 持株比率は自己株式(173,427株)を控除して計算しております。



# 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載 URL <a href="https://www.ia-group.co.jp/">https://www.ia-group.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振り込み指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株式に関するお手続きについて

### ○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問 合 せ 先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先:東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問 合 せ 先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先:東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

